

平成 23 年 9 月 9 日

大阪経済記者クラブ会員 各位

中国企業を含む大手流通業 54 社約 300 人のバイヤーに
全国 46 都道府県の 741 社 1,242 人が自慢の商品を売込む“逆商談会”
「第 15 回買いませ！売れ筋商品発掘市」
取材方 お願い

【お問合せ先】大阪商工会議所流通・サービス産業部
(高津・長谷川)
TEL. 06-6944-6440

- 大阪商工会議所は、9月16日(金)、大阪国際会議場において、大手小売業等への販路開拓を望む中堅・中小企業のビジネスチャンス拡大を目的に、「第15回買いませ！売れ筋商品発掘市」を開催する。(所管:流通活性化委員会＝山本博史委員長・小倉屋山本社長)
- 本事業は、大手百貨店やスーパーなど小売業等の仕入担当者が買い手側としてブース参加し、全国の中堅・中小製造業・卸売業・農業生産者等が売り手側として、各ブースで自慢の商材を売り込む「逆」見本市形式の商談会。
- 今回は、買い手企業54社よりバイヤー約300人が参加。一方、売り手企業(来場者)は、全国46都道府県から741社1,242人が参加する。買い手・売り手とも、参加企業数は過去最多となる。
- 買い手企業として、海外からは中国の長春、瀋陽、ハルビンで百貨店事業を展開する香港卓展集団が昨年に続き参加するほか、上海で通販事業を展開する上海美幽商貿有限公司が初参加する。日本企業では、コノミヤ、サークルKサンクス、ファミマ・ドット・コムが初参加する。
- 売り手企業としては、東日本大震災の被災地(青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県)からの参加者21社37人は入場料を無料(1社2人まで)とし、販路開拓を支援する。

【開催概要】

1. 日 時:9月16日(金)午前10時～午後1時、午後2時～同5時

※開会式:午前9時30分～同9時45分

〔主催者挨拶(大阪商工会議所 会頭 佐藤茂雄)、来賓挨拶(大阪府)、テープカット(主催者、来賓、協力団体)を行います。〕

2. 場 所:大阪国際会議場 3階 イベントホール(大阪市北区中之島 5-3-51)

3. 取 材:全プログラムがプレスオープンです。当日ご来場の際は、大阪国際会議場3Fイベントホールの事務局までお越し下さい。

〔但し、ブースにおける商談風景を撮影される場合は、当該ブースの参加者、来場者か、ブース付近の本所スタッフに一言お断りいただくようお願い致します。〕

以 上

<添付資料>

資料1 「第15回買いませ！売れ筋商品発掘市」開催概要

資料2 「第15回買いませ！売れ筋商品発掘市」ブース参加企業(買い手)一覧

資料3 「買いませ！売れ筋商品発掘市」これまでの開催状況ならびに今回の申し込み状況

資料4 東日本大震災被災地からの参加企業アンケート調査結果

資料5 東日本大震災被災地からの参加企業アンケート調査票

第15回「買いませ！売れ筋商品発掘市」開催概要

1. 趣 旨

大手流通業や外食、ホテル各社が買い手企業としてブース参加し、そこに、全国から集まった売り手企業が商品を売り込む「逆」見本市形式の商談会。中小製造業・卸売業、農業生産者等に大手流通業等各社との販路開拓、新規取引機会を提供する。

2. 構 成

(主 催) :大阪商工会議所

(協 力) :近畿百貨店協会、日本チェーンストア協会関西支部、(社)新日本スーパーマーケット協会、(社)大阪外食産業協会、(社)日本ドゥ・イト・ユアセルフ協会、(社)日本通信販売協会、大阪信用金庫、大阪市信用金庫

3. 開催日

平成23年9月16日(金) 午前の部:10~13時/午後の部:14~17時

4. 開催場所

大阪国際会議場3階イベントホール(大阪市北区中之島5-3-51)

5. ブース参加企業(買い手)

54社・団体(過去最多、【資料2】参照)※前回は52社(【資料3】参照)

6. 来場者(売り手)

46都道府県・海外から741社1,242名(過去最多参加社数)

※前回は46都道府県・海外から739社1,315人が参加

(参加者数上位10都道府県)

①大阪府285社542人、②兵庫県39社57人、③三重県37社55人、

④熊本県32社50人、⑤福岡県35社47人、⑥東京都24社36人、⑦京都府19社33人、

⑧高知県17社27人、⑨静岡県16社26人、⑩山口県16社24人

7. 特 徴:

①百貨店、スーパーなど大手小売業者が買い手としてブースを構え、そこに、中小製造・卸売企業が直接売り込みをかける「逆」見本市である。

②買い手として、全国の百貨店、スーパー、通販、外食など54社から総計300名のバイヤーが参加。また、中国の長春などで百貨店事業を展開する香港卓展集団、上海で通販事業を展開する上海美幽商貿有限公司(シャanghai・ビョウショウホウ・ユウゲンコス)の2社が海外企業として参加する。

③売り手は全国46都道府県の741社1,242名が参加し、当日は5,500件を超える商談が行われる見込み。

④中小・零細企業が販路開拓・拡大の場として活用できる。

⑤大阪・関西市場参入機会として活用できる。

⑥バイヤーは、全国の特徴ある企業や商品の情報を得ることができる。

⑦農業関係者と小売業者の出会いの場を提供する農商連携事業である。

⑧被災地の復興支援策の一環として、青森県・岩手県・宮城県・福島県・茨城県の申込みは、入場料を無料(1社2名まで)としたところ、青森県2社2名、岩手県1社2名、宮城県6社10名、福島県9社17名、茨城県3社6名の計21社37名の参加を得た。なお、被災県からの参加企業に対し、アンケート調査を実施した。(【資料4】【資料5】参照)

(ご参考) 来場者(売り手) 入場料 8月22日までの申し込み:大商会員2,000円、非会員9,000円

8月23日以降の申し込み:大商会員5,000円、非会員14,000円

以 上

第15回「買いませ！売れ筋商品発掘市」ブース参加企業（買い手）一覧

(業態別会社名 50 音順)

初参加4社（下線が初参加企業） ※（ ）内は本社所在地

【百貨店】 10社

近鉄百貨店（大阪府）、京阪百貨店（大阪府）、山陽百貨店（兵庫県）、
 そごう・西武（東京都）、大丸松坂屋百貨店（東京都）、高島屋（大阪府）、
 天満屋（岡山県）、阪急阪神百貨店（大阪府）、ヤマトヤシキ（兵庫県）、
 ★香港卓展集団（香港）

【スーパー】 20社

イオンリテール（千葉県）、イズミヤ（大阪府）、イトーヨーカ堂（東京都）、
 関西スーパーマーケット（兵庫県）、近商ストア（大阪府）、京阪ザ・ストア（大阪府）、
 光洋（大阪府）、コノミヤ（大阪府）、サンプルザ（大阪府）ダイエー（東京都）、
 大黒天物産（岡山県）、大近（大阪府）、トーホーストア（兵庫県）、ハローズ（広島県）、
 阪食（大阪府）、ピーコックストア（東京都）、ベルク（埼玉県）、マルアイ（兵庫県）、
 マックスバリュ西日本（兵庫県）、万代（大阪府）

【コンビニエンスストア】 2社

サークルKサンクス（東京都）、ファミリーマート（東京都）

【生 協】 3組合

大阪いずみ市民生協（大阪府）、おおさかパルコープ（大阪府）、コープこうべ（兵庫県）

【ホームセンター】 2社

コーナン商事（大阪府）、ロイヤルホームセンター（大阪府）

【通 販】 8社

ケンコーコム（東京都）、JFRオンライン（兵庫県）、千趣会（大阪府）、総通（大阪府）、
 日本文化センター（東京都）、ファミマ・ドット・コム（東京都）、フェリシモ（兵庫県）、
 ★上海美幽商貿有限公司（上海市）

【専門店等】 5社

総合雑貨：東急ハンズ（東京都）、ロフト（東京都） 食品宅配：ひこばえ（大阪府）
 ベビー・マタニティ用品：赤ちゃん本舗（大阪府） ドラッグストア：コクミン（大阪府）

【ホテル・外食】 4社

近鉄ホテルシステムズ（大阪府）、大和リゾート（大阪府）、ロイヤルホテル（大阪府）、
 がんこフードサービス（大阪府）

<本社所在地> 大阪府26社、東京12社、兵庫県9社、岡山県2社、埼玉県1社、千葉県1社、
 広島県1社、上海市1社、香港1社

★印の海外からの参加企業の詳細は、次ページご参照。

香港卓展集団について

<会社紹介>

香港卓展集団は、百貨店事業を運営する会社で、中国東北地域を中心に、三店舗を展開している。

- ・長春店：本店。社名：長春卓展時代広場百貨有限公司
開店：1999年、売場面積：6.5万平米、長春市人口：約600万人
顧客層：富裕層、中産階級
- ・瀋陽店：社名：遼寧卓展時代広場百貨有限公司
開店：2006年、売場面積：5.3万平米、瀋陽市人口：約800万人
顧客層：富裕層、中産階級
- ・ハルビン店：社名：ハルビン卓展購物中心有限公司
開店：2010年、売場面積：6万平米、ハルビン市人口：約600万人
顧客層：富裕層、中産階級

ホームページ：<http://www.zhuozhan.com/>

上海美幽商貿有限公司について

<会社紹介>

上海美幽商貿有限公司（シャanghai・ビユウショウホウ・ユウケンゴス）は、上海で通販事業を運営する会社で、カタログ「ビーナスベール」を20万部/回を年4回発行し、日本製品等を中国の富裕層向けに販売している。同カタログの配布エリアは、上海市（人口：2,300万人）、江蘇省（人口：7,624万人）、浙江省（人口：5,060万人）、山東省（人口：9,579万人）である。

- ・事務所：上海市閘北区万榮路930号
- ・設立：2008年

ホームページ：<http://www.venusveil.com/>

以上

【資料3】

「買いませ！売れ筋商品発掘市」

これまでの開催状況ならびに今回の申込状況

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
開催日	H14.1.31	H14.8.29	H15.2.27	H15.9.4	H16.2.5	H16.8.24	H17.3.8	H17.8.30	H18.2.24	H19.2.23	H20.2.22	H20.10.23	H21.9.2	H22.9.17	H23.9.16
	～2.1	～30	～28												
	(2日間)	(2日間)	(2日間)												
テーマ	総合型	住・雑貨・ 用度品	総合型	健康・ 癒し	総合型	食品	総合型	食品	総合型	総合型	総合型	総合型	総合型	総合型	総合型
ブース 企業数	26社	26社	40社	16社	33社	15社	29社	15社	32社	33社	34社	44社	54社	52社	54社
来場 企業数	845社	428社	908社	200社	403社	112社	370社	129社	392社	417社	402社	483社	710社	739社	741社
来場 者数	1,157人	588人	1,125人	387人	716人	166人	572人	214人	630人	684人	662人	865人	1,254人	1,315人	1,242人
商談数	3,238件	1,787件	4,703件	1,328件	2,559件	649件	2,014件	858件	2,617件	2,540件	2,524件	3,858件	5,115件	5,557件	5,500件 以上 (見込み)

東日本大震災被災県からの参加企業 アンケート調査

東日本大震災の復興支援策の一環として、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の5県から申込のあった企業に対しては、入場料を無料（1社2名まで）としたところ、21社37名の申込を頂いた。また、被災県からの参加企業に対して、震災の影響や復旧状況、本事業への参加理由などにつき、アンケート調査を実施した。

【調査の概要】

- ・調査対象：東日本大震災による被災県からの参加企業 21社
（青森県2社、岩手県1社、宮城県6社、福島県9社、茨城県3社）
- ・回答数：15社（回答率71.4%）
（青森県1社、岩手県1社、宮城県3社、福島県7社、茨城県3社）

【調査結果の概要】

1. 東日本大震災での被害状況について

東日本大震災による被害については、86.7%(13社)の企業が、「被害があった」と回答。具体的な被害状況は、以下の通り。

- ①（岩手県、食品製造業）風評被害により、海外への輸出が大幅に減少した。また、自社・得意先ともに被災したため、注文が減少した。
- ②（宮城県、食品製造・卸売業）津波被害により、従業員2名が死亡。停電により、原材料・仕掛品・商品在庫の廃棄。原材料および燃料の入手難、物流の停止により1ヶ月の休業。店舗休業、受注未分納による売上減。仕入先の廃業および業務縮小。
- ③（宮城県、食品製造業）地震により。工場5棟の内、4棟が全壊し、残る1棟も津波により浸水し、約2ヵ月間復旧作業を行った。
- ④（福島県、食品製造・卸売業）工場の給排水施設が壊れたため、休業した。資材・原料の入手が困難になり、終売した商品がある。ガソリンが不足し、通勤できない従業員がいた。
- ⑤（福島県・食品製造業）停電・断水により生産がストップした。
- ⑥（福島県、食品製造業）工場内の機械が一部ズレ、事務所の天井が一部崩壊した。停電、断水により生産ができなかった。
- ⑦（福島県、食品製造業）鶏生産委託農場が原発問題による計画的避難区域に入るため、生産できなかった。また、飼育中の鶏70,000羽を処分した。飼料工場の被災により、飼料供給が半減した。
- ⑧（福島県、食品卸売業）新商品の販売が遅れ、販路がなくなってしまった。
- ⑨（福島県、食品製造業）地震により、全壊1棟、半壊1棟、一部損壊7棟など、倉庫が被害を受けた。また、工場2棟が一部損壊した。原発事故により、出荷停止となった。
- ⑩（茨城県、食品製造業）工場のラインが一部破損した。
- ⑪（茨城県、食品製造業）工場、事務所、倉庫などひび割れ、傾き、ライフラインが不能となったため、半月程製造ラインが稼働できなかった。津波の被害にあった従業員がいた。

2. 震災後の復旧状況について

震災による被害があったと答えた 13 社の震災後の会社や店舗の復旧具合は、「復旧した」46.2%(6 社)、「ほぼ復旧した」53.8%(7 社)の回答があった。

3. 震災前との売上高の比較について

震災前と比較した現在の売上高の状況については、86.7%(13 社)の企業が、「売上が減少した」と回答。他方、「売上が増加した」と回答した企業は、13.3%(2 社)であった。

4. 復旧の一環としての参加

本事業に、震災後の復旧への取り組みの一環として参加するとの回答が、80%(12 社)に及んだ。

5. 本事業への具体的な参加理由について

本事業への参加理由(複数回答)については、「大手小売業への販路開拓」28%(14 社)、「関西市場への販路開拓」26.0%(13 社)であり、計 54%(14 社)の企業が、関西で大手小売業と販路開拓を行いたいと回答した。他方、「商品の PR」7 社(14%)、「多くのバイヤーに会える」6 社(12%)、「入場料が無料」5 社(10%)、「自社の PR」4 社(8%)、「逆見本市に興味を持った」1 社(2.0%)であった。

6. 本事業への期待度について

行政など他の団体などで復旧支援事業がある中、本事業への期待度については、「期待できる」60%(9 社)、「ますます期待できる」26.7%(4 社)と、計 86.7%(13 社)が、本事業に対して期待していると回答した。

7. 本事業を知ったきっかけについて

本事業を知ったきっかけは、「各都道府県庁及び関係機関からの案内」が、46.7%(7 社)と多く、ついで「大阪商工会議所の FAX 案内」20%(3 社)、「地元商工会議所、商工会の案内」13.3%(2 社)であった。

8. 本事業への期待や、今後必要な支援事業について

本事業に期待することや、今後必要な事業支援について記述式で尋ねた。具体的な回答は、以下の通り。

- ①流通各社に直接 PR できることはほとんどないので、中小企業にとっては、非常にありがたい事業である。(青森県、衣料卸売業)
- ②今後の関西への販路開拓を大いに期待している。(宮城県、食品製造・卸売業)
- ③大手企業、関西方面への販路拡大を期待している。(宮城県、IT 業)
- ④新規取引口座の開拓を行いたい。(福島県、食品製造・卸売業)
- ⑤福島県及び県産品・自社商品の PR を行いたい。(福島県、食品製造業)
- ⑥スーパー等での復興支援の計画を期待している。(福島県、食品製造業)
- ⑦風評被害の緩和に、少しでもなればありがたい。(茨城県、食品製造業)

以上

「買いませ！売れ筋商品発掘市」 東日本大震災被災県企業様向けアンケート

問1. 東日本大震災では、従業員や工場、店舗・取引先等に被害を受けられましたか。

被害があった⇒被害の状況をできるだけ具体的にご記載下さい。

被害はなかった⇒問3へ

問2. 震災後の会社や店舗の設備等の復旧具合について該当するものにをお付け下さい。

復旧した ほぼ復旧した あまり復旧していない 全く復旧していない

問3. 震災前との比較で現在の売上高の状況について該当するものにを付けて下さい。

震災前より増加した 震災前と同程度 震災前より減った⇒(割減少した)

問4. 震災後の復旧への取り組みの一環として、本事業にご参加されるのですか。

はい いいえ

問5. 本事業への具体的な参加理由について該当するもの全てにを付けて下さい。

大手小売業への販路開拓 関西市場への販路開拓 商品のPR 自社のPR
多くのバイヤーに会える 入場料が無料 その他()

問6. 行政や各種団体の実施している復旧支援事業がある中、本事業への期待度はいかがですか。該当するものにを付けて下さい。

期待できる まずまず期待できる あまり期待できない 期待できない

問7. 本事業は何でお知りになりましたか。該当するものにをお付け下さい。

各都道府県庁及び関係機関からの案内 大阪商工会議所からのDM
大阪商工会議所のFAX案内 大阪商工会議所のホームページ
地元商工会議所・商工会の案内 新聞・雑誌(名称:)
協同組合など業界団体の案内 その他()

問8. 本事業に期待することや、貴社で必要な事業支援等について自由にご記入下さい。

貴社名

お名前

※アンケートにご協力ありがとうございました。本アンケートは大阪商工会議所までFAX(06-6944-6565)にてお送り下さい。電話にて後日個別ヒアリングさせて頂く場合がございますので、その節はご協力賜りますようお願い申し上げます。